

グループワーク 報告用シート

グループ名	A	メンバー	伊藤、田中、野口、弘中、俣野、水口、ファシリテーター
-------	---	------	----------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	関心のある人が受診しない 男性の受診が少ない	アウトカム	個別で体験型 数値化できるものがあればいい 簡単な問診票を提示する(生活支援プログラムのような) 優劣をつける(ご褒美を設けるような)
実現性(障害)	健診会場を広く持つ 唾液テストの数値化にも問題がある部分もある	予想される変化	優劣をつけることによって もしかしたら受けてくれる人もいる？

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	B	メンバー	遠藤、菅沼、大野屋、川崎、久保、出口、鈴木、ファシリ高野
-------	---	------	------------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	①指導者によって情報の偏りが出てしまうので歯科医師会会員内で情報を共有する。 ②言葉だけではなく、視覚にうったえるチャートを利用 ③行動変容ができているか評価をする。 ④家族ぐるみで行うと効果的	アウトカム	①様々なケースに対応できる ②理解しやすい ③評価されることでやる気UP ④子供から言われると行動変容しやすい
実現性(障害)		予想される変化	

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	C	メンバー	阿佐見、岡崎、木田、児玉、徳永、久田、榎野、ファシリ荒井
-------	---	------	------------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない
 - その他(グループ独自の設定)

個別

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病手帳など既成の手帳を使う。 ・指導前後で効果の著しい患者さんは表彰をする。 ・webサイトを立ち上げて事業や指導内容を周知する。 ・バスや電車に歯科のポスターや標語を貼る、または女性専用車両に鏡付きのポスターを貼り啓発する。 ・保険者にはデータを分析し、歯科保健指導のメリットを提示する。 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・各種手帳で関心が高まり、医科歯科連携にもつながる。 ・啓発が効果的に行われることにより行動変容につながってほしい。
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・大々的な啓発にはお金がかかる。 ・指導の対する対価がないと。 	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科的な良好な行動の獲得 ・いつも口腔内を気にするようになる

疑問点	医科歯科連携に関して、ツールだけではつながらない。やはり、診療報酬など医科も歯科もwin winの関係でないと広まらないような気がする。残念なのですが。	
要望	相手	日本歯科医師会
	内容	生活歯援プログラムの簡易版が欲しい
その他の特記事項		

グループワーク 報告用シート

グループ名	D	メンバー	五十嵐(司会)、廣瀬(発表)、吉田、小泉、小西(書記)、ファシリ小島
-------	---	------	------------------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよい？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	歯科独自のツールを使用して数値化できる検査を実施(細菌数検査、唾液検査の精度向上等)。 口臭検査の実施	アウトカム	検査結果が正確で数値化されると指導しやすいし受診者の動機づけがしやすい。 継続的な状態の変化に受診者が関心を持つようになる(血圧、糖尿病、肝臓病と同じレベル)
実現性(障害)	特定指導にどの程度予算化できるか?(最低限で良いのでは。安価で)数値化できる簡便な(即時に出る)検査があるか?	予想される変化	歯科診療所への定期受診につながる。

疑問点	どのような指導研修を行ってよいかわからない		
要望	相手	日本歯科医師会、歯科医学会	
	内容	唾液検査を保険導入。簡便な検査の研究開発。	
その他の特記事項	上記に対する予算の折衝		

グループワーク 報告用シート

グループ名	E	メンバー	司会・杉本、書記・西山、発表・渡辺、メンバー・有松、ファシリ・木戸
-------	---	------	-----------------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
- マンパワー:行政に歯科衛生士が1名配置。
- 歯周疾患検診:集合/個別/実施されていない
- その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	内科との協働のもと口からの支援を実施する。 歯科診療所において生活歯援プログラムなどを活用してフォローアップして生活習慣の改善を図る。	アウトカム	歯肉の改善など視覚で訴えられる。
実現性(障害)	歯周病の健診後、歯石除去など処置を伴わない指導だけでは(生活指導だけ)の回復は時間がかかり、効果が少ない。 歯科の関わりが、全身疾患の改善によい変化が表れている評価のツールがない。 口腔の変化の客観的評価(簡単なもの)の指標が少ない。	予想される変化	行動変容が容易になる。 自分の口が良くなることが想像できるような夢が持てる。 医科からの応援。

疑問点			
要望	相手	日本歯科医師会 厚生労働省	
	内容	短くてインパクトのあるCMを作成して、流してPRしてほしい。	
その他の特記事項	歯周病の客観的指標となるものを、各歯科大学と共に開発してほしい。		

グループワーク 報告用シート

グループ名	F	メンバー	司会筒井、福士、松崎、田上発表、上原、三澤書記、ファシリ山田
-------	---	------	--------------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	①本人に気づいてもらう方法(ツールの開発) ・質問紙の結果票を見せて指導 ②本人が自分で継続できる方法を考えてもらう ③患者さんが話しやすい環境づくり→一方的に話さない 質問攻めをしない。	アウトカム	生活歯援プログラムの結果票を活用定期検診のたびに入力することで前回との比較が可能となる
実現性(障害)	・改めてパソコン、プリンター購入をする場合、費用の問題 ・機械の苦手な方が(先生など)利用できない	予想される変化	・プログラムの「あたりまえ化」 ・ITに特化 若い世代への広がりが期待できる ・若い世代、女性 健康への関心も高く広がる

疑問点			
要望	相手	日本歯科医師会	
	内容	プログラムの質問が多いためスリム化していただけるとイベントなどで活用しやすい	
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	G	メンバー	旭、菅原、河田、植岡、平田、中西、ファシリ佐々木
-------	---	------	--------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	①SNS活用(アプリ開発) ②ポイント、マイレージ、プログラム利用 ③保健指導(医療面接ではなく)で聞き出す(引き出す)コミュニケーションスキルトレーニングと重要性意識の会員意識改革(効果的) ④若い年代からの保健指導(対象年齢の引き下げ) ⑤効果的な方法とは、を明らかにする。(示す)(コクランレビュー)(コクラン共同計画により作成されたシステマティックレビュー)	アウトカム	
実現性(障害)		予想される変化	

疑問点	
要望	相手
	内容
その他の特記事項	

グループワーク 報告用シート

グループ名	H	メンバー	今井、岡安、下村、野村、増田、森島、渡邊、ファシリ森木
-------	---	------	-----------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 実施されていない

-その他(グループ独自の設定)

成人歯科保健対策についてこれから充実を図るところ

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を明確にする(有病者等) ・視覚的指導(口腔内写真を用いた指導等) ・受診勧奨 ・対象者個々人毎の目標値の設定 ・媒体作成活用(啓発資料等) ・他職種とのコラボ(教育委員会、保育協会等) 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科に対する抵抗感↓ ・住民の関心↑ ・対象者の行動変容 ・かかりつけ歯科医にもらったデータを活用した歯科保健指導が可能
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ歯科医が歯科医師会非会員の場合データがもらえない ・かかりつけ歯科医のデータの活用(健診データ→スクリーニング等) ・目的(1次予防)を果たすためのポピュレーションアプローチの方法 ・受診率向上に向けた取組 ・指標(わかりやすい数値): 動機付けになるような ・受診への強制力 	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> ・行政-歯科医師会連携↑ ・診療に従事している歯科専門職と保健指導に従事している歯科専門職との連携

疑問点		
要望	相手	研究班
	内容	歯肉炎～歯周炎 進行度を診断するための簡易なツール開発
その他の特記事項		

グループワーク 報告用シート

グループ名	I	メンバー	上田、木次、小山、眞岡、中山、松本、ファンリ田村
-------	---	------	--------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 集合
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・行動変容をはかるにはオプションをつける ・健康マイレージ(商品券等) ・保険点数を挙げる ・指導者レベルの均一化 ・コミュニティを募って指導する(5人組制) 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の改善 ・人材育成による指導水準向上
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・費用をどう負担する ・事業評価が難しい ・指導の場(職場もしくは歯科医院) 	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の向上

疑問点	
要望	相手
	内容
その他の特記事項	

グループワーク 報告用シート

グループ名	J	メンバー	上川、黒氏、鈴木、竹中、三善、ファシリ矢野
-------	---	------	-----------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まず受診率をあげる 「啓発」 各種媒体(TV、広告)を利用する 保健指導のエビデンスをはっきりさせる 行動を変えるツールを確保する(視覚資料、教材、マニュアル) 「負担」 受診者 受診者の負担を引き下げる その他 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の意識をかえる ・コミュニケーション 社会的(口臭)に支障がない ・受診率の向上(受診者数の増)
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易で効果的なツールが欲しい(現在のペリオスクリーンは時間がかかる) 	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> ・検査ツールを使い受診者へ自分の状態を認識してもらうことができる さらに行動変容がみられること

疑問点			
要望	相手	メーカー	
	内容	見た目にインパクトのある指導キット(ツール)が少ない	
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	K	メンバー	内山、金子、土屋、畠山、福井、福田、村山、ファシリ高澤
-------	---	------	-----------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

・人口15万人程度の市

- マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
- 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
- その他(グループ独自の設定) 歯科医院数100

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まず受診率をあげる 「啓発」 各種媒体(TV、広告)を利用する 保健指導のエビデンスをはっきりさせる 行動を変えるツールを確保する(視覚資料、教材、マニュアル) 「負担」 受診者 受診者の負担を引き下げる その他 	アウトカム	指導を受けることによって、、、 1 特定保健指導を受けた人が歯科保健指導をどれだけ受けたか？ 歯科が定着したかどうか 2 歯科保健料の変化があったか 3 最終的に医科も含めた医療費が減少したか
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士を行政で受け入れる体制を作れるのか？ 予算の問題。 ↑ 国や県の協力は得られるか ・診療所の歯科衛生士が協力してくれるのか 	予想される変化	↓ アウトカムと同じ

疑問点		
要望	相手	国や県、市町村
	内容	歯科衛生士確保のための予算
その他の特記事項		

グループワーク 報告用シート

グループ名	L	メンバー	岸本、福森、堀田、野口、竹村、ファシリ長
-------	---	------	----------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない
 - その他(グループ独自の設定)

--	--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Ipadを平均的ツール ・face to faceのspecial感 自分が聞きたいことが聞ける。 一方的な指導ではだめなのでコミュニケーション能力をあげる研修 ・教育課程でコミュニケーションをとる能力を ・個室化にしてプライバシーを守る→特別感 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・理解が得られて続く ・医療費が下がる 特に企業に対して事業所で「生活歯援プログラム」を使用する 個室化→特別感
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・個室化→地域特性(個室を怖がる) ・口腔診査をすると工場のラインが止まるので企業は嫌がる 事業所へのプログラム(マイレージ) 	予想される変化	マイレージプログラムを使うと→楽しく参加できるので続く

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	M	メンバー	大山、金樹、川越、縄田、葉山、星川、本野、ファシリ石川
-------	---	------	-----------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

- ・人口15万人程度の市
 - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
 - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
 - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動画ツールなどの共通理解の指導で一律に ・被保険者の1日の行動記録持参でより深い個別指導へ ・糖尿病手帳を利用して 	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・悪化イメージではなく美的イメージ ・めざす自分に近づく ・何でも食べる ・口臭がなくほめられる
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタル面への立地面(年代別)からのアプローチ 	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> ・意識の向上

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

グループワーク 報告用シート

グループ名	N	メンバー	大田、佐野、高石、武田、根本、久恒、ファンリ北尾
-------	---	------	--------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別

-その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	統一したマニュアル(ライフステージ)	アウトカム	全国で同じ内容の指導を受けられる ライフステージごとに適切な指導が受けられる
実現性 (障害)	マニュアルを使用できるスキルを持つための研修を実施 色々な情報があふれている	予想される変化	受診者間の指導の格差がなくなる 様々な場(学校など)で活用できる

疑問点		
要望	相手	国、歯科医師
	内容	統一したマニュアルの作成、研修の実施
その他の特記事項		

グループワーク 報告用シート

グループ名	○	メンバー	岩谷、鴨志田、清野、高塚、竹内、林、松山、ファシリ吉野
-------	---	------	-----------------------------

テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
- ③. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない

-その他(グループ独自の設定) 地域でなく、職域での指導を検討することとした。

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職場に出向いて保健指導を行う(集団)←地域ではなかなか人が集まらない。職域では集まれるので職域で ・個別にチラシ送付(例 年2回) →生活歯援プログラムの結果に添ったものを選んで送る(例 禁煙指導など) 	アウトカム	話をする時間、マンパワーはないが、チラシなら見てもらえやすい →知識を持つ人、関心を持つ人が増える
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まらない ・人材育成 ・歯科医院で指導するのはマンパワーが足りない。指導するスキルがない 	予想される変化	

疑問点		
要望	相手	1 日歯など 2 行政歯科衛生士
	内容	1 企業セミナー講師(産業歯科医とは異なる立場)の人材育成 2 歯科医院での教育のアドバイス システムづくり
その他の特記事項		